

第57回粉体工学に関する講演討論会を東京で開催

The 57th Symposium on Powder Technology Held in Tokyo

ABSTRACT

The 57th Symposium on Powder Technology, hosted by the Hosokawa Powder Technology Foundation, was held in Tokyo and online on September 3, 2025. Centered on “Structural Control of Powders and Their Applications in Advanced Fields”, the event featured six lectures, including the KONA Award commemorative lecture by Prof. Anthony J. Hickey. Topics ranged from aerosol drug delivery systems to particle structure control in gas and liquid phases, and industrial applications such as phosphors, solid electrolytes, and dry processing. About 260 participants joined from academia and industry. The symposium concluded with a networking reception. The KONA Award ceremony honored Prof. Hickey as the 39th recipient. The next symposium is scheduled for September 2026 in Osaka.

令和7年（2025年）9月3日（水）に、「第57回粉体工学に関する講演討論会」が開催され、「先端分野を支える粉体の構造制御とその応用」をテーマとして、粉体工学・粉体技術の基礎と応用の観点から、KONA賞受賞講演を含む6件の講演がありました。昨年度に引き続き、会場とオンラインによるハイブリッド形式での開催となりました。

冒頭では、細川悦男理事長より開会の挨拶があり、学界および産業界の幅広い分野からの参加者に歓迎の意が表されました。また、この講演討論会の開催

経緯や、当財団の国内外での粉体工学分野における活動について紹介がありました。

続いて、KONA賞の贈呈式が行われ、内藤牧男常務理事より2024年度受賞者である米国ノースカロライナ大学チャペルヒル校名誉教授 Anthony J. Hickey氏が紹介され、理事長よりKONA賞の盾が授与されました。KONA賞は、粉体工学分野において顕著な業績を挙げられた研究者に授与される国際的な賞であり、毎年、世界中から推薦された候補者の中から審査により原則1名が選ばれます。今回



（公財）ホソカワ粉体工学振興財団 細川悦男理事長による開会挨拶

Opening address by Mr. Yoshio Hosokawa, President of the Hosokawa Powder Technology Foundation.



KONA賞贈呈式にて

（細川理事長と2024年度KONA賞受賞者 Prof. Anthony J. HICKEY）

At the KONA presentation ceremony President Hosokawa and 2024 KONA Awardee Prof. Anthony J. HICKEY.



講演風景

Lecture scene.



討論風景

Discussion scene.

で39人目の受賞者となり、同氏は米国から3人目の受賞者となりました。

引き続き講演会では、まずKONA賞受賞記念講演が行われ、様々な肺疾患の治療方法として目覚ましく進歩しつつあるエアロゾルドラッグデリバリーシステムについて、薬学ならびに粉粒体工学的な観点から、薬効成分や賦形剤などの特性を考慮した安全で効果的な吸入製剤の研究開発について紹介されました。

続いて、粉体工学の学界を代表して、広島大学大学院の萩崇教授および横浜国立大学大学院の飯島志行准教授による講演が行われました。萩教授からは、気相中での微粒子の構造制御と先進材料開発への展開について、飯島准教授からは、液相中における微粒子の分散と集合構造制御に基づく機能性材料の設計について発表がありました。

さらに、産業界からは、近年注目を集めている製品開発への粉体技術・ナノ粒子合成加工技術の応用

に関する講演が行われました。デンカ（株）江本秀幸氏、日本特殊陶業（株）彦坂英昭氏、およびホソカワミクロン（株）東和田剛司氏より、それぞれ、サイアロン蛍光体の特性改善とその実用化、リチウムイオン伝導性酸化物固体電解質の開発およびその粒子表面制御・電池応用、ならびに乾式操作による粒子構造制御について講演がありました。

講演会の最後に、ホソカワミクロン（株）代表取締役細川晃平社長から閉会の挨拶があり、講演会は盛況のうちに終了しました。講演会終了後には、昨年度に引き続き懇親会が催され、終始和やかな雰囲気の中、講師と来場者との間で有意義な交流が行われました。

今年の会場への来場者数は100名を超え、会場はほぼ満席状態となりました。オンライン参加者を含めると、総勢約260名の参加がありました。次回（第58回）は、令和8年（2026年）9月に大阪での開催を予定しております。



ホソカワミクロン（株）細川晃平社長による閉会挨拶
Closing remarks by HMC President Kohei Hosokawa.



懇親会風景
Get-acquainted party.

第57回 粉体工学に関する講演討論会

The 57th Symposium on Powder Technology

テーマ 先端分野を支える粉体の構造制御とその応用

日時 令和7年(2025年)9月3日(水) 10:00~16:50

場所 ホテル東京ガーデンパレス, オンライン併用によるハイブリッド開催

主催 公益財団法人ホソカワ粉体工学振興財団

後援 ホソカワミクロン株式会社

定員 (会場) 100名, (オンライン) 200名

次 第

開会挨拶 (10:00~10:10)

ホソカワ粉体工学振興財団 理事長 細川 悦男

KONA賞贈呈式 (10:10~10:20) **司会** ホソカワ粉体工学振興財団 常務理事, 大阪大学 名誉教授 内藤 牧男

【KONA賞受賞記念講演, セッション1】 **司会** 東北大学 教授 加納 純也

KONA賞受賞記念講演 (10:25~11:15)

「Outstanding Contributions to Aerosol Drug Delivery Systems」

ノースカロライナ大学チャペルヒル校 名誉教授 Anthony J. HICKEY

講演1 (11:15~12:05)

「気相中での微粒子の構造制御と先進材料開発への展開」

広島大学大学院 先進理工系科学研究科 教授 萩 崇

昼食休憩 (12:05~13:00)

【セッション2】 **司会** 電力中央研究所 名誉シニアアドバイザー 牧野 尚夫

講演2 (13:00~13:50)

「液相中における微粒子の分散と集合構造制御に基づく機能性材料設計」

横浜国立大学大学院 環境情報研究院 准教授 飯島 志行

講演3 (13:50~14:40)

「サイアロン蛍光体の特性改善とその実用化」

デンカ株式会社 新事業開発部門 研究統括部 江本 秀幸

【セッション3】 **司会** 東京農工大学 名誉教授 神谷 秀博

講演4 (15:00~15:50)

「リチウムイオン伝導性酸化物固体電解質の開発およびその粒子表面制御・電池応用」

日本特殊陶業株式会社 ビジネスインプリメンテーション本部 主席専門職 彦坂 英昭

講演5 (15:50~16:40)

「乾式操作による粒子構造制御の紹介」

ホソカワミクロン株式会社 粉体工学研究所 東和田 剛司

閉会挨拶 (16:40~16:50) ホソカワミクロン株式会社 代表取締役社長 細川 晃平

懇親会 (17:00~18:30)